

大宮西地区

富士宮まつり～秋宮～

富士宮まつりは、秋の収穫や一年の無事に感謝するおまつりです。富士山本宮浅間大社の秋の例大祭※1(11月3日～5日)に合わせ、浅間大社周辺で囃子※2を奏でながら山車※3や屋台の引き回しを行います。

古くから浅間大社では、5月5日の流鏝馬祭で農業の出来を占い、6月28日に御田植祭を行い、9月15日の例大祭で収穫をお祝いしました。

江戸時代末期に書かれた日記などには、6月と9月には、浅間大社周辺で、山車や屋台の引き回し、芝居や相撲などの興行、花火の打ち上げ、派手な飾り付けなどが行われ、それを見るために多くの人が集まり、まちが賑わったことが記されています。

明治初年に新暦が採用され、浅間大社の秋の例大祭が11月4日となると、6月と9月に行われていた囃子、山車や屋台の引き回しなどを例大祭に合わせて行うようになり、富士宮まつりになったと考えられています。

- ※1 神社で毎年決まった日に行う最も重要で盛大なまつり
- ※2 主に管楽器と打楽器を使い、拍子をとって奏でる音楽
- ※3 祭礼の際に引いたり担いだりするもの



大正時代のまつりの様子

富士宮囃子

富士宮まつりで奏でられる富士宮囃子(静岡県指定無形民俗文化財)は、浅間大社の氏子による奉納囃子で、江戸時代末期に始まったとされています。

本来の競り合いは、すれ違うのもままならない狭い道で、山車が鉢合わせしたときにどちらが道を譲るかを囃子の優劣で競うものでした。

現在では、事前に交渉(取り決め)を行い、礼節を尊重した競り合いとなっています。



囃子の競り合い



歩く博物館 Hコース<大宮西地区>
旧大宮町西地区をめぐるコース

市役所6階文化課、郷土資料館(文化会館内)、出張所または市公式ウェブサイトなどにあります。

HP トップページ>市民の皆さんへ>教育・文化・スポーツ>郷土資料館>歩く博物館



歩く博物館ガイドブック

全24コースの地図と解説付きです。

- 料 500円
- 申 市役所6階文化課、埋蔵文化財センターの窓口で
- 他 郵送で購入したい場合は、電話またはメールでお問い合わせください。
- 問 文化課 ☎22-1187
- ✉ e-bunka@city.fujinomiya.lg.jp

有料
ガイドブック

